

平成 30 年度 天売島ネコ対策の取り組みについて

羽幌町町民課

○実施主体

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会（構成団体：環境省、北海道、北海道留萌振興局、羽幌町、北海道獣医師会、留萌獣医師会、動物愛護 NPO）

○猫の捕獲状況

- ・平成 30 年度のノラネコの捕獲 0 匹
- ・平成 25 年 2 月からの捕獲数 143 匹（島外搬出 130 匹、TNR の残り 13 匹）
- ・現在島内にいるノラネコは 10 匹以下と想定
- ・ノラネコの減少と因果関係は不明だが、黒崎海岸のウミネコのコロニーで 1090 巣を確認（天売海鳥研究室）

○譲渡

- ・譲渡合計 113 匹（内、11 匹が天売島内で飼猫化）
- ・譲渡会の開催（海鳥センター、酪農学園大学、ジョイフルエーカー新発寒店、その他愛護団体主催の譲渡会）

○馴化

- ・現在馴化中の猫 15 匹（海鳥センター、愛護団体、動物病院、酪農学園大学、旭山動物園、預かりボランティアの家庭）
- ・飼育ボランティア（登録 13 名）、預かりボランティア（登録約 40 名）

○普及・啓発

- ・パネル展の開催（動物愛護フェスティバル札幌・江別・帯広、札幌チカホイベント、北海道ペットフェスティバル、譲渡会など）
- ・「天売猫のカードゲーム」を活用した授業を実施（羽幌高校 1 年生総合学習）
- ・ウェブページ、SNS（Facebook ページ）での情報発信
- ・天売島民への普及啓発として「天売猫まつり」を開催（7 月 9 日～10 日）

○観光振興との連動

- ・天売猫の飼い主、預かりボランティアにフェリー往復無料乗船券を配布
- ・動物愛護フェスティバルなどで、羽幌・天売島の物産を販売、宣伝

○ドブネズミの対策

- ・猫に頼らないドブネズミ対策として、公共施設等での捕獲作業の実施や島民への鼠の貸し出しを行なっている